〔プログラム〕

1. ノクターン　遺作　嬰ハ短調　　ショパン

2. 交響曲第6番 「田園」 第1楽章　抜粋　　ベートーヴェン
〈田舎に着いたときの晴れ晴れとした気分〉

3. 根室の灯　　南雲嘉千代

4. 交響曲第6番 「田園」 第4楽章　　ベートーヴェン
〈稲妻と嵐〉

5. シベリア幻想曲～赤いサラファンに寄せて～　　望月たけ美

6. カンタータ BWV208 より
「羊は安らかに草を食み」　　J.S.バッハ

◆シベリア抑留◆

ロシアやウクライナ、バルト三国などの国々が、１９９１年までは一つの国「ソビエト社会主義共和国連邦」（ソ連）として存在。第二次世界大戦当時、日本は現在の中国の東北部に「満州」という傀儡国家を作り大勢の日本人（終戦時１５０万人以上）が移り住んでいた。

１９４５年８月９日、終戦の直前にソ連の軍隊は日ソ中立条約を破って満州、樺太に侵攻。約 60 万人の日本人男性（女性も含む）が労働力として連行され、シベリアをはじめとする旧ソ連やモンゴルで強制的に働かされた。

収容所は広いソ連の全国土に約 2000 ヵ所以上もあり、シベリア地方にその約７割が集中していたために「シベリア抑留」と呼ばれている。

収容所は高さ 3mくらいの塀に囲まれていて、塀は二重の鉄条網が張りめぐらされていた。四隅には高さ 10m くらいの監視塔があり、常に銃をかまえたソ連兵が見張っていた。

シベリア地方は厳しい寒さで、食料不足、電気も水道も満足に無く、劣悪な生活環境下で働かされた。平均３年、最長 11 年抑留され、約 6 万人の日本人が母国に帰れずに亡くなっている。



シベリアのバイオリン

～父の抑留体験を音楽と共に伝える～

2026年11月1日(日)

お話とピアノ　窪田由佳子･小澤実々子

根室の灯

あなたの居ない部屋に来て
ひとり見つめる街の灯よ
思いほのかな思い出に
都よ夢よ　さようなら

望郷の歌

白樺はゆる山々の
空のかなたのふるさとや
父母いかにおわすらん
思えば遥か　霜白し